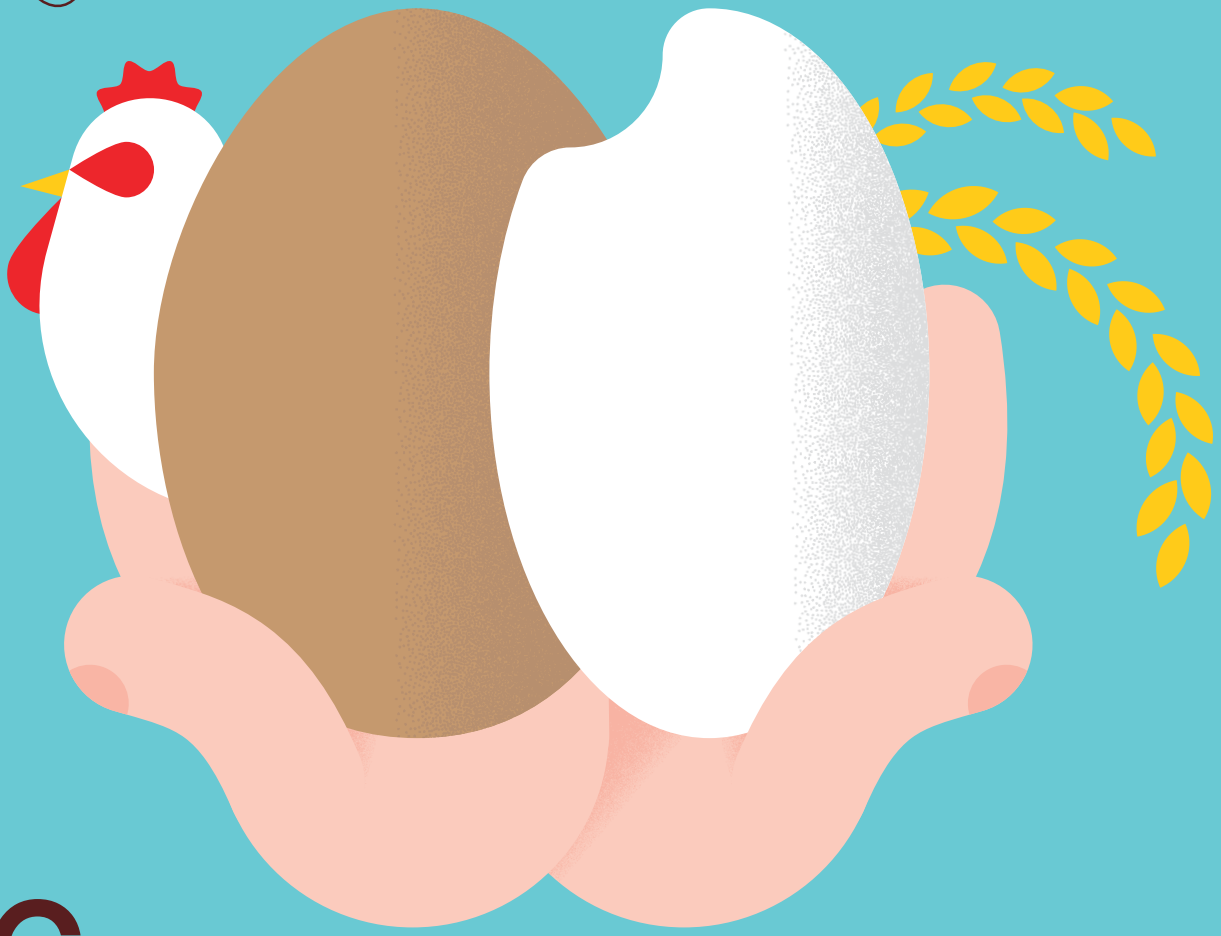
manabu Project

名城大学農学部 公開講座
「食と農の安全を考える」第10回

GAP導入がもたらす農業の進化
―米と卵の現場から―



2026
6.6(土)
13:00-15:30

名城大学
天白キャンパス
共通講義棟南1階 S-102

定員80名

食の安全・安心への関心が高まる中、生産者もこれまでの「おいしい」に加えて「安全・安心と環境配慮」が新しい価値観として共有されつつあります。この講座では、GAP(Good Agricultural Practice:農業生産工程管理)を解説するとともに、生産者、サプライヤーにおけるGAPの必要性や実用例などを解説いただきます。

申込は こちら	QRコードを読み込んで Googleフォームよりお申し込みください。

GUEST SPEAKER

講演1
JGAPの向こう側
-認証がもたらす組織文化の進化-

株式会社 デイリーエッグ
生産部長代理 長尾 智
同生産部 椹木 はるか

講演2
GAPの導入と水稲農業経営

株式会社 LightField
代表取締役 丸田 洋

本講座では、SDGsの目標に関する取り組みを行なっております。
3 すべての人に健康と福祉を / 6 安全な水とトイレを世界中に / 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに / 8 働きがいも 経済成長も / 9 産業と技術革新の基盤をつくろう / 11 住み続けられるまちづくりを / 12 つくる責任 つかう責任 / 13 気候変動に具体的な対策を / 17 パートナーシップで目標を達成しよう / CN カーボンニュートラル実現に関する講義

主催:名城大学農学部 〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口1-501　お問合せ:agr001@ccmailg.meijo-u.ac.jp (農学部生物資源学科 公開講座事務局)